



2017
11

No. 050

〔発行日〕
2017.11.1



【写真提供】西東京市 【撮影場所】西東京いこいの森公園

- ▶市町村共同事業助成事業報告会を開催しました 2
- ▶オール東京62市区町村共同事業
 - みどり東京・温暖化防止プロジェクト市町村助成事業紹介 3
 - 青梅市 親水事業『おうめ水辺の楽校』
 - 府中市 府中環境まつり2017
 - 檜原村 薪づくり体験
- ▶多摩交流センターだより
 - ・平成30年度広域的市民ネットワーク活動等事業の助成団体募集 4
 - ・多摩発・遠隔生涯学習講座11・12月開催予定の講座案内 5
 - ・東京維学大学12月講義案内 5

- ▶平成28年度 調査研究報告書の紹介 6
- ▶調査研究報告書の活用に関するアンケート調査結果報告 7
- ▶編集後記 7
- ▶とっておきスポット～“ココ”ご存じですか？～西東京市... 8

Contents

11月の内容

公益財団法人

東京市町村自治調査会

市町村共同事業助成事業報告会を開催しました

当調査会では、東京都市長会及び東京都町村会とともに市町村共同事業を推進しています。

平成29年8月3日(木)13:30から、東京自治会館4階の講堂にて、平成28年度に実施された共同事業の中から以下の9事業について、自治体担当者から1年間の成果を報告いただきました。どの事業も助成金を活用し、有意義な事業が実施されていました。

なお、平成29年度の助成内容及び助成事業詳細につきましては、本紙6月号(No.045)P5～8をご覧ください。



▲自治体担当者による報告の様様

(1) 多摩・島しょ広域連携活動助成事業

一般連携活動事業(平成28年度実施団体:16団体)

	連携組織の名称	事業名	構成自治体等
1	国分寺・府中観光振興連絡協議会	国分寺・府中観光振興創出事業	国分寺市、府中市、国分寺市観光協会、(特非) 府中観光協会
2	国際交流事業の広域連携検討会	国際交流に関するボランティア人材の募集と育成講座等の合同実施	武蔵野市、三鷹市

子ども体験塾事業(平成28年度実施団体:20団体)

	連携組織の名称	事業名	構成自治体等
3	子ども雪国体験事業実行委員会	子ども雪国体験事業	昭島市、東大和市、武蔵村山市、瑞穂町、長野県栄村
4	多摩北部広域子ども体験塾実行委員会	たまろくトレイン探検隊	小平市、東村山市、清瀬市、東久留米市、西東京市、多摩六都科学館

(2) 多摩・島しょスポーツ習慣定着促進事業助成事業

(平成28年度実施団体:28市町村)

	自治体名	事業名
5	羽村市	はじめようスポーツ!障害者スポーツのススメ
6	青梅市	元気に!楽しく!梅っ子体操

(3) 多摩・島しょわがまち活性化事業助成事業

(平成28年度実施団体:38市町村)

	自治体名	事業名
7	府中市	府中×漫画で活性化!事業
8	新島村	新島村魅力発信事業
9	西東京市	めぐみちゃんメニューフェスタ



▲審査会委員からの講評



オール東京62市区町村共同事業

みどり東京・温暖化防止プロジェクト

市町村助成事業紹介

本プロジェクトでは、自然環境保護及び地球温暖化防止についての普及・啓発を目的とする市区町村の自主事業に対する助成を行っています。本助成を活用して多摩・島しょ地域の自治体で実施された事業を紹介します。

かれんとシーナは、みどり東京・温暖化防止プロジェクトのイメージキャラクターです。



シーナ



かれん

1 青梅市

親水事業「^{がっこう}おうめ水辺の楽校」

青梅市では、市内を流れる多摩川と霞川で、小中学生を対象に親水事業「おうめ水辺の楽校」を実施しています。

市内で親水活動に取り組む4団体と市が協働し、稚鮎の放流、魚のつかみ取り、水辺の生き物調査、魚釣り、炭焼き、ライフジャケット浮力体験、いかだ遊び、虫捕りなど、年間約8事業を実施。特に川での安全教育を重視しています。

子どもたちが豊かな自然の中、川遊びを通じて、自然と環境の大切さを体感し、豊かな人間性が育まれることを期待しています。

【問合せ先】青梅市 環境政策課 TEL 0428-22-1111



2 府中市

府中環境まつり2017

6月3日(土)府中公園にて、市民が地球温暖化防止、自然保護、ごみ減量や3R推進など、環境について楽しみながら学び、考えることができるイベントとして「府中環境まつり2017」を開催しました。

会場では、市民団体、事業者、学校、行政などによる環境活動紹介や身近な自然について遊びながら学べる工作体験のほか、フリーマーケット、ステージイベント、クイズラリーなど様々な催しを行い、延べ1万9千人の方にご参加いただきました。

模擬店の食品販売ではリユース食器を使用しており、ごみの発生抑制を呼び掛けました。

【問合せ先】府中市 環境政策課 TEL 042-335-4472



3 檜原村

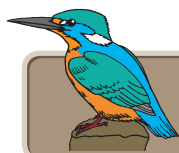
薪づくり体験

檜原村では、切捨て間伐材を有効活用するため、木質バイオマス燃料として「檜原村産の薪」の普及に取り組んでいます。この取組を村内外の薪ストーブユーザーや興味のある方などに周知するために「薪づくり体験」を年2回開催しています。

当日は手入れのされた山林を散策しながら林業について学ぶことができます。また、薪製造施設では、実際に「斧」を使用した昔ながらの薪割りと油圧式の自動薪割り機を使用した2通りの薪割りを体験できます。その後、温泉センター「数馬の湯」に設置された薪ボイラーを見学し、温泉に入って疲れを癒していただきます。

【問合せ先】檜原村 産業環境課 TEL 042-598-1011





多摩交流センターだより

～多摩地域の複数の市町村からなる市民団体の広域的な活動を支援します～

平成30年度

広域的市民ネットワーク活動等 事業の助成団体募集!!

「多摩地域を元気にしたい! 人の役に立ちたい!」

そんな市民活動を広域的に行っているみなさんのイベントや事業を応援します!!

農林業・商店街活性化支援活動

子育て・障がい者・高齢者支援活動



防犯・防災活動

スポーツ・芸術文化活動

西多摩振興活動etc.



当調査会では、市町村のワクを越えて行われる市民活動が、より拡大、充実するように支援をしています。現在、市民活動の分野は多岐にわたっていますが、特に、子育て・高齢者・障がい者支援、防犯・防災活動等は、より市民の力が必要とされています。日頃の皆さんの広域的な活動の成果や発表の場の経費の一部を助成することによって、市民ネットワークや相互交流を推進し、多摩地域のひとづくり、まちづくりへとつなげていきます。

募 集 期 間

平成29年11月6日(月)～12月4日(月)

制 度 説 明 会

平成29年11月10日(金) 18:00～
多摩交流センターにて

※参加には事前申込が必要です。11月7日(火)までに、下記問合せ先にてお申し込みください。その際、団体名・代表者名・ご連絡先を伺います。 受付時間:平日9:00～17:00

※この助成制度は、平成30年度予算の成立を条件とし、その予算の範囲での実施になります。

※詳細はパンフレットか当調査会のホームページ (<http://www.tama-100.or.jp/>) をご覧ください。

問合せ先

公益財団法人 東京市町村自治調査会 事業部 企画課
東京都府中市新町2-77-1 TEL 042-382-7781

インターネット
放送による

多摩発・遠隔生涯学習講座

NPO法人全国生涯学習ネットワーク・公益財団法人東京市町村自治調査会共催
後援：武蔵野市教育委員会

11・12月開催予定の講座案内

165回

題名 **かし****固有の瑕疵について保険者はどこまで責任を負担するのか**

日時 平成29年11月9日(木) 14:30から約1時間

講師 松島 恵 氏(明治学院大学名誉教授、商学博士)

内容 固有の瑕疵については、16世紀以降今日に至るまで世界各国の法律・貨物約款で免責危険として定められてきましたが、イギリス判例及び諸外国学説を通じて、近年新しい定義や斬新な解釈が提言されてきています。硬直的な固有の瑕疵概念から柔軟性に富む概念への転化に着目して、固有の瑕疵概念についての新たな法的効果を提唱したいと思います。

166回

題名 西ヨーロッパの世界制覇～その理由と世界に対する壊滅的影響

日時 平成29年12月14日(木) 14:30から約1時間 講師 加藤 淳平 氏(元外交官、元在ベルギー大使他)

○受講料 無料(ただし資料代100円)

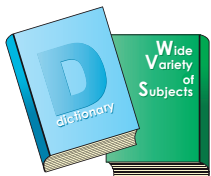
○メイン会場 多摩交流センター 第2会議室(申込みは必要ありません。直接会場にお越しください。)

○サテライト会場 武蔵野市かたらいの道

○ライブ中継・VOD視聴について

多摩発・遠隔生涯学習講座のホームページ(<http://zsgn.dp-21.net/tsgn/>)から無料で、当日の講座の視聴(ライブ中継)や過去の講座を視聴(VOD視聴)することができます。

問合せ先 TEL 070-2648-3520(高原) TEL 0422-52-0908(菅原)



特定非営利活動法人

東京雑学大学

平成29年12月講義案内

(受講料：会員は無料、会員でない方は12月14日を除き1回500円)

番号	日時	講義テーマ	教授	教場
第1113回	12月7日(木) 14:00から	“白隠禅師坐禅和讃”をもとに 仏教の真意を考察する	岡部 守成 氏 (白隠禅師研究家)	西東京市田無庁舎 2階 202・203室 (西武新宿線田無駅南口 徒歩3分)
第1114回 ※	12月14日(木) 14:30から	西ヨーロッパの世界制覇 ～その理由と世界に対する壊滅的影響	加藤 淳平 氏 (元外交官、元在ベルギー大使他)	遠隔視聴(サテライト)会場 武蔵野市かたらいの道 (JR三鷹駅北口 徒歩3分)
第1115回	12月21日(木) 14:00から	江戸の成り立ちと太田道灌	太田 資暁 氏 (NPO法人太田道灌顕彰会理事長)	西東京市民会館 (西武新宿線田無駅北口 徒歩8分)

☆申込みは必要ありません。直接会場へお越しください。

※第1114回は、第166回多摩発・遠隔生涯学習講座と共同で実施します。メイン会場は多摩交流センターです。

問合せ先 TEL 042-465-3741(浅田) TEL 0422-52-0908(菅原)

「多摩交流センターだより」の問合せ先

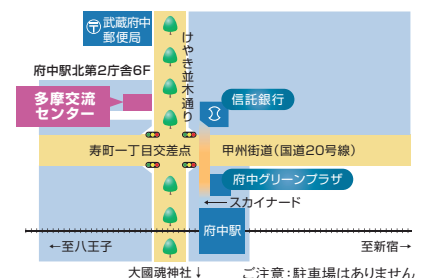
(公財)東京市町村自治調査会 多摩交流センター

〒183-0056 府中市寿町1-5-1 府中駅北第2庁舎6階

TEL 042-335-0100 FAX 042-335-0127

ホームページ <http://www.tama-100.or.jp/>(当調査会ホームページ内にコンテンツがあります)

☆多摩交流センターは、広域的市民ネットワーク活動の支援、多摩地域市民交流の場の提供等を目的として活動しています。



平成28年度 調査研究報告書の紹介

本紙5月号(No.044)で概要を紹介した平成28年度の調査研究報告書のうち、4件の単年度調査研究報告書について、隔月で詳細を紹介していきます。今号では、「誰にも伝わる情報発信に関する調査研究報告書」を紹介します。

本報告書は、当調査会ホームページ（<http://www.tama-100.or.jp/>）からダウンロードできます。

誰にも伝わる情報発信に関する調査研究報告書

1. 背景・目的

自治体から住民へ発信する情報には、正確性、公平性、伝達の確実性が求められます。特に、災害時など非常時の緊急的な情報伝達や、外国人・独居高齢者・視覚障害者など「情報の受け取りに弱点を抱える人」への情報伝達など「すべての人に伝わるユニバーサルな情報発信」の重要性が増しています。

そこで、本調査研究は、行政特有の表現や複雑な制度、専門的な内容などを誰にもわかりやすく伝えるための手法を整理し、「やさしい日本語」の考え方を応用して自治体職員に提示することを目的に実施しました。

2. 市町村から住民への情報発信の現状

① 自治体の取組

- ・わかりやすい情報発信に努めているが、行政分野間、職員間の意識にそれぞれ差異があるために、統一した基準作りには難しい面がある など

② 住民の感じ方

- ・住民の4人に1人が市町村からの情報を「わかりにくい」と感じており、特に、複雑な制度や専門用語が多いとわかりにくい など

3. わかりやすい情報発信の課題

① 職員の取組意欲の向上

② 読み手の立場に立った文書の作成

③ 取組を組織内で展開するための体制構築

4. わかりやすい情報発信の取組に向けた提案

上記の3つの課題を受けて、以下の取組を提案しています。

① 職員の取組意欲を高めるための方策

- ・取組を動機づけるための職員研修の実施 など

② 読み手の立場に立った文書を作成するための方策

- ・具体的な読み手を想定して作成し、見直しを行う など

③ 取組を展開するための体制構築の方策

- ・統一的な方針や基準の策定と庁内共有の仕組み など



【参考となる研究や取組】

○減災のための「やさしい日本語」

- ・災害時に外国人にもわかりやすい日本語で情報伝達
- ・平時の生活情報の書き換え、広範な対象や分野への派生

○公文書の書き換えを行う「やさしい日本語」

- ・在住外国人の日本語学習の保障
- ・地域における共通言語となりうる表現
- ・「情報弱者」も含めたすべての人に情報を平等に伝えるための公文書の書き換え

○情報のユニバーサルデザイン

- ・「わかりやすさ」の基準作り
- ・デザイン改善により「わかりやすさ」を実現

◇ これらを参考にしながら、各地の自治体や団体が様々な分野で取組を進めています。

調査研究報告書の活用に関するアンケート調査結果報告

当調査会は、毎年度、各種の調査研究報告書を作成し、多摩・島しょ地域市町村等に配布するとともに、ホームページ上(<http://www.tama-100.or.jp/>)でも広く公開しています。

この報告書が自治体の現場でどのように活用されているのかについて把握し、今後の調査研究に役立てるため、5月に多摩・島しょ地域の39市町村を対象としたアンケート調査を実施しました。

○ 9割近い市町村で事業に役立てられています

調査研究結果の活用状況をみると、「毎年度、事業実施の参考になっている」、「その年の調査研究テーマによって、個別の行政課題と合致する場合には参考にしている」を合わせ、計34団体(87.2%)が調査研究結果を事業に活用していると回答しています(図1参照)。

○ 近年発行の報告書が多く活用されています

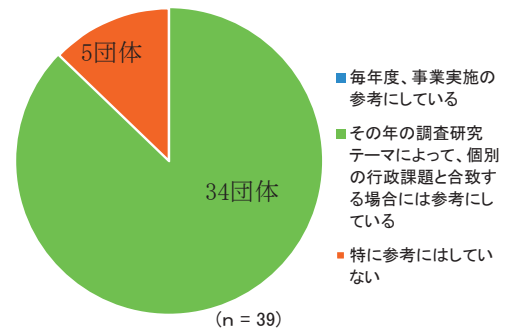
平成28年度1年間の活用事例をみると、「基礎的な情報、データ等として参考にした」という回答をはじめとして、15団体で活用実績があり、全体の38.4%となっています。(図2参照)。

活用された報告書の例としては、「2020年東京オリンピック・パラリンピックにおける多摩・島しょ地域の可能性と展望に関する調査研究(平成27年度発行)」が今後の自治体の取組の参考として、また、「基礎自治体によるオープンデータ化と利活用の可能性に関する調査研究(平成28年度発行)」が施策の推進に当たって他自治体の取組状況を参考にした、としてそれぞれ役立てられています。

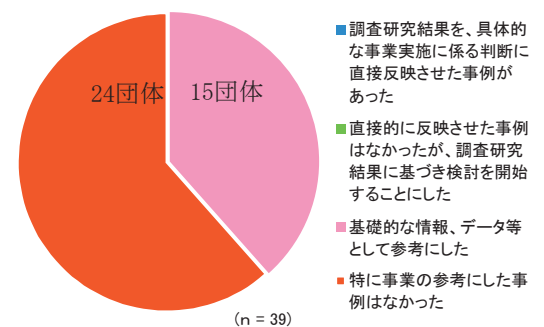
当調査会は、近い将来大きな課題となるようなテーマを選定し調査研究を行っておりますが、これに呼応するように1～5年前に発行された報告書が多く利用されていることが回答からうかがえます。

一方で、「特に事業の参考にした事例はなかった」という回答も24団体あり、全体の61.5%を占めています。当調査会は、この結果をしっかり踏まえ、今後調査研究成果の更なる還元に努めてまいります。

(図1) 調査研究結果の活用(単数回答)



(図2) 平成28年度の活用事例(単数回答)



編集後記

- 今年もあと2ヶ月を残すのみとなりました。11月になるとクリスマスイルミネーションの点灯や年賀はがきの発売が始まり、街は一気に年の瀬の雰囲気になります。

2018年はもうすぐそこです。

- 「来年のことを言えば鬼が笑う」といいますが、最近の日本社会を取り巻く社会・政治経済・国際情勢は、どれ一つとっても確かな予測を立てることが困難で、ほんの数ヶ月先の見通しを立てることすら難しい状況にあります。

そんな中、確実に進むのは少子高齢化と人口減少です。この現象から逃れられる地域はなく、広い分野に影響が及ぶことから、各自治体にとっては、様々な課題解決を迫られる難題です。

- これらの問題について、当調査会では早くから調査研究を行い、報告書を通じて注意喚起をして来ましたが、2011年「人口減少期における多摩地域の『縮む』未来図」、2014年「自治体の空き家対策に関する調査研究」、2016年「高齢社会における『ヒト』と『モノ』の移動に関する調査研究」などはその一例です。

各報告書の提言に通底するものとして、多様な地域資源と特色をもつ多摩・島しょの各地域が、協調しつつ広域に連携して対

応することの効果が挙げられます。また、行政が、住民や地域内外の専門性を持つ多様な主体と連携することの有用性についても指摘しています。

キーワードは「連携と多様性」です。

- 先行きが不透明だから、新たな事業を始めるほどのことではないからといって対応を先送りし、これまで通りには、「ゆでガエル」のたとえのように、混乱と困窮の道に迷い込むことになりかねません。

混迷の時代だからこそ視野を広く持ち、問題がまだ小さいうちにしっかりと考え、「先行投資」のつもりで問題の芽を摘む対策に、連携して積極的に取り組むことが大切です。

- 「投資」は本来、未来のリターンを信じて行うものであり、未来の夢を描かない者、未来を信じない者は行わない、という話を聞き、小さなショックを受けました。

時には、リスクを恐れず新たな事業に果敢にチャレンジすることも必要です。未来を信じて、豊かな地域づくりを積極的に目指す気構えを持ちたいと考えます。

(M.N)



とっておきスポット

第38回 西東京市

“ココ”
ご存じ
ですか?

西東京市といえば、多摩六都科学館を連想するかもしれないけど、今回はわたげのボクが
“みどりのスポット”をつなぐウォーキングコースの、下野谷遺跡公園を巡るコースを紹介するよ。



したのや 下野谷遺跡

下野谷遺跡は、東伏見の石神井川を見下ろす高台にある国史跡なんだ。南関東では最大級の縄文時代の集落の跡だったんだって。遺跡の一部が「下野谷遺跡公園」になっていて、竪穴住居の骨格復元などもあるよ。

この下野谷遺跡の価値と魅力をわかりやすく伝えるために、下野谷遺跡公園内で使えるスマートフォン用アプリ「VR下野谷縄文ミュージアム」を配信しているよ(無料)。みなさんも、縄文時代を体感しにふわっと行ってみて!

[ウォーキングマップ]



ここから、スマートフォンのアプリで、QRコードを読み取ると、みどりの散策マップにアクセスできるよ。パソコンからは、検索サイトから「みどりの散策マップ」で検索してね。

表紙の西東京いこいの森公園の場所は、「E ひばりが丘・いこいの森コース」を確認してみてね。



上の地図は、西東京市が今年3月に作成した「みどりの散策マップ」のコースの1つで、約3kmの「K 遺跡と水のコース」だよ。歩くと45分ぐらいかかって、約135kcal消費するんだって。「みどりの散策マップ」は、市内の緑地を巡る14のウォーキングコースを紹介しているんだ。すべてのコースに所要時間、消費カロリーを目安、歩く時のワンポイントが掲載されているよ。

[情報・写真提供] 西東京市企画部秘書広報課 TEL 042-460-9804